

母

高等部二年

比嘉

野乃加

っ久しぶりよと母の声

私も母にっ久しぶりよ

変わらない明るい笑顔

変わらない優しい声

変わらない懐かしい味

私は少し背が伸びて

同じ目線で並んで歩く

身長も体重も追いついたはずなのに

どこか母の背中は大きくて

私の全てを包んでくれる

私が大人になるために

母から学んだ大切なこと

これからも途切れることのない

母と私の固い絆